

平成30年度第2回地域の魅力発信セミナーの開催（結果）

- 1 12月5日、外務省は、平成30年度第2回地域の魅力発信セミナーを、茨城県、栃木県、神奈川県、静岡ツーリズムビューローと合同で、ホテル椿山荘東京において開催し、約70名の駐日外交団を含む約170名が参加しました。
- 2 第一部のプレゼンテーションにおいては、茨城県が「日本の台所」として豊かな土地が生み出す高品質な農産物、栃木県は利便性と自然が融合した高水準なビジネス環境、神奈川県は「禅」の精神と共に歩んだ歴史や食文化について発表を行った他、静岡ツーリズムビューローは何世紀にもわたり主要都市を結ぶ街道として重要な役割を担った東海道を中心に栄えた食、自然、文化を紹介し、それぞれの地域の魅力をPRしました。



- 3 第二部の交流会においては、茨城県ブースでは水戸梅大使より地酒や梅酒が笠間焼のお猪口で振る舞われた他、地元名物のあんこう鍋、かんしょ（サツマイモ）の天麩羅やデザート、こだわりの飼育技術で育てられた常陸牛のローストビーフ等が提供されました。栃木県ブースでは名物宇都宮餃子を始め、生産日本一のいちご、お酒等の試飲試食の他、ステージ上では地元大田原市の竹工芸師が竹箆を編み上げ、参加者の中から1名にプレゼントされました。



神奈川県ブースでは三崎まぐろのにぎり寿司が人気を集め、他にもお米を原材料とするノンアルコールのサングリアが多くの外交団の興味を引きました。また、ステージでは迫力の風魔忍者ショーが注目を集めました。静岡ツーリズムビューローのブースでは、一級品のクラウンメロン、麒麟富士山麓のウイスキーなどの試飲試食のほか、広重版画「東海道五十三次」丸子宿に描かれた丁子屋現当主が、その貴重な実物を見せながらの読み解き解説を行いました。



- 4 このセミナーにおいて各地域の魅力を多くの参加者に伝え、外交団等の各地域に関する理解や、地方自治体と外交団をはじめとする外国関連団体関係者等とのネットワーク作りが促進されました。

[参考] この事業は平成20年度から毎年度複数回行っており、今回が25回目。